

助産診断技術学V

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 西里 真澄 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座、産婦人科学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期に必要な診断法や検査法、その際に必要な助産ケアの実際について、その基本を理解する。具体的には、妊娠期に行われる超音波断層法診断の実際、分娩損傷と創部縫合術の実際、新生児蘇生法、分娩監視装置の判読と異常時の対応、腹式帝王切開術における術前から術後を通しての一連の助産ケア、分娩誘発・促進時の助産ケア、保育器に収容された新生児への助産ケアおよび出生前診断と助産ケアについて学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

妊娠期・分娩期に必要な診断法や技術について基本事項を学ぶことにより、必要な助産ケアを考えモデル人形等を用いて基本手技を実施することができる。また異常時の対応が必要な事例に対する助産ケアについて、留意事項をふまえながら、基本事項を理解することができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 5, 7

・到達目標（SBO）

1. 超音波断層法診断、分娩損傷に対する縫合術、分娩監視装置の判読と異常時の対応、分娩誘発や促進、母体救命について留意点を意識しながら基本事項を理解し説明することができる。
2. 超音波断層法診断、分娩損傷に対する縫合術、分娩誘発や促進、母体救命について必要な助産ケアを説明できる。
3. 出生直後の新生児の観察とケアの基本を理解することができる。
4. 出生直後の新生児のケアの実際を、演習にて実施できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 3-A 実習室

(矢) マルチ 4-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/13	水	3	産婦人科学講座	馬場 長 教授	周産期総論 助産師として共に携わる本邦産婦人科治療の実際を理解することができる
4/25	月	3	産婦人科学講座	岩動 ちず子 助教	分娩誘発・促進と助産ケア ・分娩誘発・促進について説明できる ・分娩誘発・促進に伴うリスクや有害事象、助産ケア上の注意点について説明できる
4/26	火	4	産婦人科学講座	岩動 ちず子 助教	分娩損傷と縫合術時と助産ケア (演習) ・分娩時裂傷と縫合術の実際を、演習を通して実践することができる
6/6	月	3	成育看護学講座	西里 真澄 講師	出生直後の新生児の状態評価 ・出生直後の新生児のアセスメントの視点について、理解することができる
6/6	月	4	成育看護学講座	西里 真澄 講師	出生直後のルーチンケア (演習) ・出生直後のルーチンケアについて、演習を通じて実践することができる
6/6	月	5	成育看護学講座	西里 真澄 講師	蘇生の初期処置を要する新生児への助産ケア (演習) ・蘇生の初期処置と効果の評価等について、演習を通じて実践することができる

6/16	木	4	産婦人科学講座	羽場 巖 助教	母体救命の実際 <ul style="list-style-type: none"> 産科危機的出血の診断から治療を学んだ上で、母体救命において最も重要なことを説明できる グレード A(超緊急腹式帝王切開術)の適応・必要性を理解し説明できる
6/17	金	4	産婦人科学講座	畑山 伸弥 助教	妊娠期・分娩期に行われる諸検査と助産ケア <ul style="list-style-type: none"> 周産期診療の中で行われる諸検査について理解できる(超音波断層法診断、骨盤X線撮影、分娩監視装置の判読など) 諸検査に伴う注意事項や必要な助産ケアについて説明できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア	森恵美 責任編集	日本看護協会出版会	2021
教	助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア	町浦美智子 責任編集	日本看護協会出版会	2021
教	助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア	江藤宏美 責任編集	日本看護協会出版会	2021
教	助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・ 新生児へのケア	小林康江 責任編集	日本看護協会出版会	2021
教	日本版救急蘇生ガイドライン 2020に基づく新生児蘇生法テ キスト第4版	細野 茂春 監修	メジカルビュー社	2021

・ 成績評価方法

演習への取り組み状況（30%）、課題（70%）にて評価する。なお、演習の取り組み状況は、演習の参加状況や態度、事前準備として課した内容の遂行状況を含む。

・ 特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

授業内容について教科書等にて予習を行い講義に臨むこと。講義終了後は教科書や配付資料、ノート等にて復習を行い、次回の講義に臨むこと。各授業に対する事前学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

課題は、コメントをつけて学生にフィードバックする。
また、WebClass に解説を掲載する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師（別表 2）：助産診断・技術学

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影
演習	分娩台	2	分娩期の診断
演習	助産演習モデルセット（内診・分娩用外陰部Ⅱ型）	2	分娩期の診断
演習	裂傷縫合トレーニングモデル	11	会陰切開の縫合技術修得
演習	縫合セット一式	11	会陰切開の縫合技術修得
演習	ラジアントウォーマー	1	新生児のケア 技術修得
演習	コーケンベビー（新生児）	2	新生児のケア 技術修得
演習	新生児蘇生用セット一式	2	出生直後の新生児のケア 技術修得